

# 2022年度 定時総会開催

2022年6月2日(木) 15:00～16:30 ホテルニューオータニ東京「鳳凰の間」

2022年度定時総会は、会場出席とリモート出席を合わせ、約200名の会員の皆様にご出席いただきました。下記事項についてお諮りし、すべての議案が原案の通り意義なく可決承認されました。



## 決議事項

- 第1号議案 会長代行の選任について
- 第2号議案 役員改選について
- 第3号議案 2021年度活動報告について
- 第4号議案 2021年度収支決算について
- 第5号議案 2022年度活動計画について
- 第6号議案 2022年度収支予算について
- 第7号議案 会員の異動について



## 【2022年度活動計画 要旨】

### ◆ 最重点課題：有事における国民的危機への対応

- 今後は感染症だけではなく、国家国民の危機管理において戦争や大規模災害などの非常事態を有事と捉え、それらに対応できる司令塔の実現を目指すことを趣旨に、最重点課題「新型コロナウイルス感染拡大防止と医療提供体制の改善」は「有事における国民的危機への対応」と改題し取り組みを継続していく。
- 行政の縦割りの弊害について、より具体的に調査研究を進め、あるべき司令塔機能・指揮命令系統、感染症以外の有事に対応できる体制について、法制度、運用の両面でのボトルネックを解消できるよう、実現可能な構想を提言したい。

### ◆ 重点課題：「国家財政の見える化」の実現

- 複数年度予算制度の制度設計をより具体化することで、実効性の高い提言活動へ繋げる。
- 財政書類の法定化を継続しつつ、「見える化」に資する新たな取組みに向け論点整理をする。
- 効果的な意識喚起を行うための実態把握として、国民の生の声を集約するためアンケート形式の意識調査を行う。

### ◆ 重点課題：生活者としての外国人の受入れ体制の構築

- 不就学・日本語教育支援体制の実態把握をする。
- 技能実習に関連する各種事業者・監督機関等の役割・機能およびその取り組みなどの調査・研究を進める。
- 全生団連会員へ基本指針の採択に関する意向確認を実施する。

### ◆ 重点課題：「エネルギー・原発問題」の国民的議論について

- 政府のエネルギー政策について、状況に応じ引き続き意見表明等を行っていく。
- 企業・住民・自治体に向けた再エネ導入事例の共有や情報発信、更には国民とのリアルな情報交流の場の創設を行う。
- 現地現物調査により情報を収集し、ファクト集の更新を実施する。

### ◆ 重点課題：生団連災害支援スキーム

- 外部団体への活動支援物資として、会員企業の防災備蓄品を活用できるスキームを構築する。
- 生団連災害支援基金を設立する。

### ◆ 重点課題：ジェンダー主流化

- ジェンダー平等の実現に向けて論点整理と課題解決の模索を進めるべく、ジェンダー主流化を重点課題に位置づける。
- 勉強会は継続し開催しながら、企業におけるジェンダー平等の推進とジェンダー平等に関する論点整理を同時並行で行っていく。

### ◆ ウクライナ支援

- 生団連としての支援金を募り集約した上で、災害時連携協定を結んでいる特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム様を経由して、医薬品・食料、生活用品に関する支援を行う。

### ◆ 地域生団連

- 5月に大阪生団連が発足し、7月には北海道生団連が発足予定である。



▲消費者市民社会をつくる会  
阿南 久 代表理事



▲埼玉県地域婦人会連合会  
柿沼トミ子 会長



▲札幌消費者協会  
高田 安春 会長



▲堺市消費生活協議会  
山口 典子 会長



▲キリンビール株式会社  
堀口 英樹 代表取締役社長



▲日本水産株式会社  
浜田 晋吾 代表取締役社長執行役員